

市民ネットワーク・の다가通信

No.123

2017年11月

野田市議会議員

小室みえこ

野田市山崎2694 C-302

編集発行：市民ネットワーク・の다가 住所：野田市野田312 代表 鈴木真理子 Tel:7123-6981 Fax:7123-6982
<http://www.shiminnetnoda.sakura.ne.jp> Eメール shiminnetnoda@chorus.ocn.ne.jp

平成28年度 保険者努力支援制度：野田市

指 標	配 点	野 田 市
特定健診受診率	60	10
特定健康指導受診率		
メタボ該当者及び予備軍の減少率		
がん検診受診率	20	10
歯周疾患（病）健診実施状況		
糖尿病等の重症化予防の取り組みの実施状況	40	
個人インセンティブの提供の実施	40	
個人へのわかりやすい情報提供		
重複服薬者に対する取組の実施状況	10	10
後発医薬品の促進の取組	30	21
後発医薬品の使用割合		
収納率向上に関する取組状況	40	
医療費等の分析	10	10
給付の適正化等	10	10
地域包括ケアの推進	5	5
第三者求償	10	10
小 計	275	86
体制構築加点	70	70
合 計	345	156

国民健康保険は 都道府県化（広域化）へ

平成30年度から始まる国民健康保険が都道府県単位となることから予算編成を控えたこの時期の現状を聞きまし

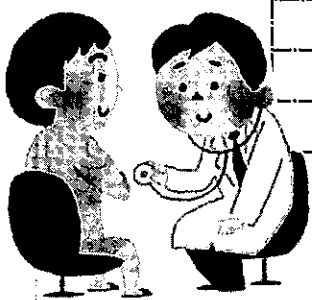
た。しかし、この時期になっても、「国保事業費納付金」（これは野田市が千葉県に対して収める金額の総額）が、確定しておらず、未だ試算を繰り返しています。議会開催中の9月8日に第三回の試算額を公開しましたが、それも確定ではありません。

この「納付金」は、基本的にはこれまで市町村が加入者から徴収した保険料の総額のことです。

新たな制度の中で、今回の質問項目に挙げた「保険者努力支援制度」は指標の内容や得点の合計点に³¹2.円（毎年同じ額とは限らないとのこと）をかけた金額が交付金として野田市に配分されます。その得点によって自治体間の交付金額に差が出るという仕組みです。この努力支援制度は「医療費適正化」「収納率向上」のための取組としてその結果を評価するものもあり、

自治体間の競争をおおるもので、注意してみたいかなければなりません。得点結果によっては、保険料の負担増につながりかねません。

厳しい財政状況の緩和のためにできることにしっかりと取り組む気概が必要です。東葛地域における各市の努力支援制度得点順位は、柏市は7位、流山市は10位、我孫子市25位、鎌ヶ谷市28位、松戸市35位、野田市42位の順です。さらに、保険料に差が広がるのでしょうか？



全国平均	198.67
千葉県平均	188.33
野田市得点	156.0
野田市県内の順位42位	

(千葉県54市町村のうち)